

「道の駅」計画・設計の現状と課題について

吉田 智¹・松田 泰明²・笠間 聡³

¹正会員 (国研) 土木研究所寒地土木研究所 地域景観ユニット (〒062-8602 北海道札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34) E-mail:yoshida-s22ac@ceri.go.jp

²正会員 (国研) 土木研究所寒地土木研究所 地域景観ユニット (〒062-8602 北海道札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34) E-mail:y-matsuda@ceri.go.jp

³正会員 (国研) 土木研究所寒地土木研究所 地域景観ユニット (〒062-8602 北海道札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34) E-mail:kasama@ceri.go.jp

「道の駅」は、道路利用者の沿道休憩施設としてだけでなく、観光や地域の振興にとっても重要な施設となっている。他方、「道の駅」は地域性や独自性が強く、施設全体の設計自由度が高いことに加え、計画や設計を支援する技術資料が存在しないこともあり、各自治体などの担当者は「道の駅」の計画や設計に苦慮し、休憩施設としての機能や魅力が不十分であったり、多様化するニーズに対応できていない事例も多くみられる。そこで、本研究では多様化する「道の駅」のニーズや機能に対応した、適切かつ一定水準の計画・設計技術の提供を目的として研究を行っている。

本報告では、「道の駅」の現地調査や関係者に対してヒアリングやアンケート調査を行い、これらから「道の駅」の計画・設計上の現状と課題について整理した。

Key Words : michi-no-eki, planning, design, function, issues

1. はじめに

(1) 「道の駅」と地域振興

発足から 20 年以上経過した「道の駅」は、今では全国で 1,093 駅登録 (平成 28 年 5 月 10 日現在) され、施設内で何らかの購買を行っている利用者だけでも、年間で 2 億人以上の人々が利用している¹⁾。

現在の「道の駅」は、沿道の快適な休憩施設としての役割や、観光も含めて、地元製品の加工や販売を行い地域の雇用を創出する地域振興など、道路利用者のみならず地域にとっても重要な施設となっている。

このため、平成 27 年 8 月 14 日に閣議決定された国土形成計画 (全国計画)²⁾ では“「道の駅」について、産業、教育、福祉等の様々な分野において更なる機能発揮のための取組を進める”と示されており、第 4 次社会資本整備重点計画³⁾ でも“地方創生の核となる「道の駅」の機能強化”が挙げられている。また、第 8 期北海道総合開発計画⁴⁾ においても、“「道の駅」の観光情報提供等の拠点としての活用を推進する”、“「道の駅」等の既存施設を避難拠点として活用する”と明記されるなど、「道の駅」は地域や観光振興に重要な政策の一つとなっ

ている (写真-1)。

なお、近年「道の駅」は道路インフラを生かした地域開発モデルとしても優れているとの評価から、JICA などの協力により、海外でもその整備が行われている⁵⁾。



写真-1 地域や観光振興に貢献する「道の駅」(イメージ)

(2) 「道の駅」の多様化する機能

「道の駅」は“休憩機能”，“情報発信機能”，“地域連携機能”の3機能を併せ持つ施設として設置されているが（図-1），当初の設置の目的としては「一般道路にも安心して自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩のための“たまり”空間が求められ誕生した施設」とされている^{6）}。

「道の駅」の制度発足当時はドライバーの立ち寄り施設であったものが、その後「道の駅」自体が目的地となっている事例も少なくない。最近では、「“まち”の特産物や観光資源を活かして“ひと”を呼び、“しごと”を生み出す核へと独自の進化を遂げ始めている。」^{7）}とされ、さらに「道の駅」は、人口減少が進む中山間地域の生活拠点としても位置づけられるなど^{8）}（図-2，3），地域にとっても重要な拠点的な施設となっている。

一方、平成16年に発生した新潟中越地震において、「道の駅」は避難者支援施設、災害復旧拠点、情報提供施設などとして大きく災害復旧に貢献した^{9）10）}。これにより、防災機能が「道の駅」の新たな機能として注目されるようになった。このことは、平成23年に発生した東日本大震災における「道の駅」の活用や貢献により、今や多くの「道の駅」に対して期待される機能となっている。

このように多様化する「道の駅」の機能を強化するため、制度を策定した国土交通省だけではなく、他の省庁も「道の駅」を核とした地域活性化の取組^{7）}に期待し、様々な支援を行っている（図-3）。

(3) 研究の必要性と目的

道路利用者の快適な休憩の提供だけではなく、地域振興や防災などの拠点施設となった「道の駅」は、利用者数の増加だけでなく、社会的な関心も高い。しかし、一方で、その計画や設計においては課題も多いことを著者らの既往研究^{11）}においても報告している。例えば、車の利便性中心で歩行者にとって危険な駐車場をはじめ、整備された園地がほとんど利用されていない（利用しにくい）などの事例も多く確認されており、そのため利用者の満足度や運営面で負に影響していることや、開設後短期間に改修を行っている事例も少なくない。

このような課題について、以下の原因が考えられる。

- ①施設全体の設計自由度が高く、地域性や独自性が強く意識されることもあり、他の「道の駅」の設計事例が参考となりにくい。
- ②「道の駅」が設置される地域の設計事務所等が設計を担当することも少なくないことに加え、元々一般的な施設でないため、設計者の有するノウハウや経験が十分でない。



図-1 「道の駅」の3つの基本機能^{6）}



図-2 近年の「道の駅」の機能イメージ^{7）}



※「小さな拠点」は黄色い丸で囲んだエリア、「ふるさと集落生活圏」は赤い点線のエリアです。

図-3 「道の駅」の小さな拠点イメージ^{7）}

③計画・設計の支援となる実質的なガイドライン等の技術資料が存在しない。

（※駐車の数やマスの大きさなどを計算方法や、高速道路のサービスエリアのトイレの設計事例などが示されている程度のものしか存在しない。）

そのため、整備する各自治体などにおいて、実用的でわかりやすい「道の駅」の計画や設計に関する技術情報が求められている。

そこで本研究では、多様化する「道の駅」のニーズや機能に対応した、適切かつ一定水準の共通する計画や設計技術を提供することを目的とし、その一環として、「道の駅」の計画・設計上の課題を把握するため、「道の駅」の自治体担当者や管理運営者などに対して、現地ヒアリング調査及びアンケート調査を行った。

2. 「道の駅」の施設構成と「道の駅」の機能

「道の駅」には、様々な施設や設備があるが（図-4）、例えば、利用者が「道の駅」で休憩することを考えた場合、屋内施設にある休憩コーナー、レストラン、トイレ、眺望施設などを利用する。あるいは、屋外の園地、樹木・木陰、イス・テーブル、オープンテラスなどを利用すると考えられる。このように、利用者の休憩という機能に関しては、これらの様々な施設や設備、仕様などが、「道の駅」における休憩の快適性や利用のしやすさなどに大きく影響し、さらに駐車場及び敷地内の舗装、景観、環境なども含めて、利用者の印象評価や行動に関係すると考えられる。

そのため、「道の駅」の計画や設計を考える際には、全体レイアウトや施設配置および駐車場、屋内外の休憩施設、物販コーナー、園地・植栽、情報提供施設、サイン類、道路からの見え方、眺望施設、バックヤードなどの施設の各要素と、「道の駅」の機能の関係を紐といていく必要がある。

そこで本研究では、「道の駅」の各要素に着目し、それらが「道の駅」の機能に及ぼす影響を分析していくこととする。



図-4 国土交通省が示す「道の駅」の施設構成のイメージ⁶⁾



写真-2 ヒアリング状況

3. 「道の駅」への現地ヒアリング調査

現在の「道の駅」が抱える計画・設計上の課題や、多様化していく利用者や地域のニーズなどについて把握し、整理するため、「道の駅」を管理運営する各自治体の担当者及び管理運営者、過去に複数の「道の駅」の管理運営に携わった有識者に対してヒアリングを行った。また、同時に「道の駅」の設計時、管理運営時における留意点を現地で確認しながら調査を行った。

(1) 現地ヒアリング調査

a) ヒアリング内容

現地のヒアリングは、これまでの既往研究や調査などを基に仮説を整理し、それに基づき計画や設計における現状と課題について、聞き取りを行った（写真-2）。また、有識者に対しても管理運営時の課題などについて、聞き取りを行った。ヒアリングの概要を表-1、表-2に示す。

b) 現地ヒアリング箇所の選定

以下の方針でヒアリング箇所を抽出し、条件に合致する10カ所を選定した（表-2、図-5）。

- ・施設の整備や改修内容が参考となる事例
- ・計画／設計時の状況や思想が十分に記憶されている

表-1 ヒアリングの概要

調査期間	ヒアリング調査対象	ヒアリング内容
2015年12月 ～ 2016年3月	北海道内の「道の駅」（10駅） 石狩・空知管内 4駅 後志管内 4駅 胆振管内 2駅 過去に3箇所の「道の駅」の 管理運営に携わった有識者	<ul style="list-style-type: none"> ■発注範囲 (駐車場設計・施設設計など) ■発注方式 ■発注先 ■専門家の関与 ■トータルプロセスの実施状況／方法 ◆良いと感じている点 ◆不都合を感じている点 ◆改善したい点とその優先順位など

◆：有識者に対してもヒアリングした内容

表-2 「道の駅」の現地ヒアリング箇所

地域	道の駅	所在市町村	登録年度	専用 / 既存施設活用	複合施設	ヒアリング日
石狩・空知地方	A	a市	H14	専用	×	H28.1.29
	B	b市	H16	専用	○	H28.1.28
	C	c町	H8	専用	○	H28.1.29
	D	d市	H17	専用	×	H28.2.23
後志地方	E	e町	H11	専用	○	H28.2.4
	F	f村	H14	専用	○	H27.12.14
	G	g町	H9	専用	×	H27.12.14
	H	h村	H27	専用	×	H27.12.14
胆振地方	I	i市	H12	専用	○	H28.2.4
	J	j市	H21	専用	×	H28.1.28

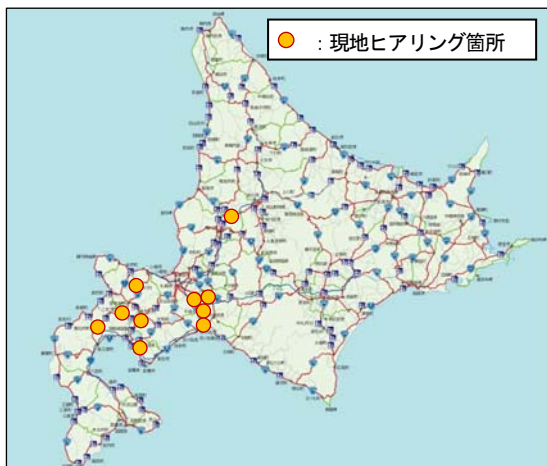


図-5 「道の駅」の現地ヒアリング箇所図

と考えられる、新しい施設や近年リニューアルされた施設

- ・設計思想や内容が偏らないよう、設計受注者の重複を避ける

(2) 現地ヒアリング調査結果

ヒアリングにより把握した主な結果を表-3に示す。これらのうち、多くの「道の駅」で共通していたものや特徴的なものについて抜粋して以下に記す。

a) 良いと感じている点

- ・開放感のある吹き抜け
- ・施設全体に自然光が入り開放感と清潔感がある (写真-3)
- ・安らぎのある大きな窓
- ・事務所と観光案内所が近いため効率的な対応が可能
- ・災害時、受水槽内の水は利用可能
- ・コミュニティーFM
- ・建物が長方形とシンプルな作りなため、レイアウトの変更が容易、など…。

b) 不都合を感じる点 (改善したい点)

- ・駐車台数の不足
- ・利用者に認識されない園地 (写真-4, 図-6)
- ・園地への出入り口がわかりにくい (写真-5)
- ・熱効率の悪い吹き抜け (写真-6)
- ・天窓からの日差しで商品のチョコレートが溶けた
- ・天窓の清掃は困難である (写真-6)
- ・日中は明るいですが、日が落ちたら暗い窓
- ・直売所が分棟になっているため不便である (写真-7)
- ・冬期間、商品が凍結してしまうプレハブ倉庫 (写真-7)
- ・屋根からの落雪処理に苦慮



写真-3 自然光が入り開放感と清潔感のある施設(イメージ)



写真-4 左：利用者に認識されない園地(イメージ)
右：施設の裏に配置された園地 (イメージ)

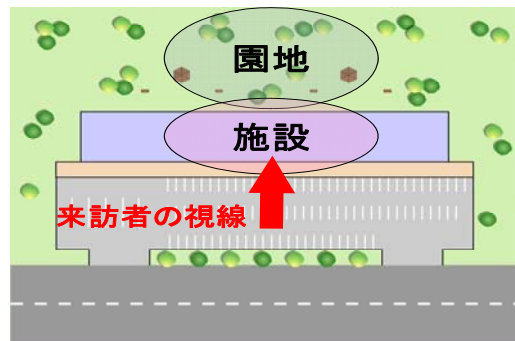


図-6 利用者に認識されない園地(イメージ)



写真-5 左：園地の出入り口がわかりづらい(イメージ)
右：魅力的な園地(イメージ)



写真-6 左：熱効率が悪い吹き抜け(イメージ)
右：掃除に苦勞する天窓(イメージ)

表-3 設置者・管理運営者・有識者（管理運営）の主なヒアリング結果

「道の駅」の施設概要	設置者（自治体）、管理運営者、有識者（管理運営）	
	良い点	改善したい点
駐車場		<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車台数の不足 ・ 堆雪スペースの不足 ・ 積雪により区画線がなくなる <ul style="list-style-type: none"> ◆EV施設も整備すべきである ・ 利用者のデント張りに考慮
園地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用されている園地 ・ 自由に使える芝生 ・ 地下水を芝生の管理に利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭い園地 ・ 利用者に認識されない園地 ・ 建物内から、見えない園地 ・ 利用されないステージ <ul style="list-style-type: none"> ・ 堆雪スペースとなるため建物が見えなくなる ・ 過剰なしの集水路は、時期により、日々の交換が必要となる
イベントスペース（屋内・屋外）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用頻度の高いイベントスペース ◆イベントに活用できる中間領域 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間領域にテントを立て実施 ・ 広い屋外スペース <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物前面に中間領域がない ・ 狭い屋内スペース <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外に排水設備があると良い ・ 増築によりスペースがなくなった
建物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開放感のある吹き抜け ・ 景観に配慮した外観・デザイン ・ 利用者から印象が良いデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱効率の悪い吹き抜け ・ デザインにこだわった狭い建物 ・ 「道の駅」として認識されない ・ 国道に背を向けたレイアウト <ul style="list-style-type: none"> ◆使いづらい円形の内部 ◆認識されない2階のレストラン ・ 雨漏りし、雪が落ちにくいデザインの凝った屋根
窓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設全体に自然光が入り開放感と清潔感がある ・ 安らぎのある大きな窓 	<ul style="list-style-type: none"> ◆窓付近に棚を設置したため、暗くなってしまった ◆光が入りすぎるため、遮光シートを後から貼った ・ 西日が暑い <ul style="list-style-type: none"> ◆天窓からの日差しで商品のチョコレートが溶けた ・ 太陽光により商品が傷みやすい ・ 天窓の清掃は困難である ・ 日中は明るい、日が落ちたら暗い
出入り口（施設）		<ul style="list-style-type: none"> ◆出入り口が狭い ・ 園地への出入り口がわかりにくい ・ 入口付近に棚があるため、奥まで見通せない ・ 吹きだまりができる <ul style="list-style-type: none"> ・ 産直品を持った状態で開閉に考慮するドア ◆冬期間、雪が入ってしまうため使用できなくなる出入り口
休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い屋内休憩スペース ・ 夏期、屋外にイス・テーブルを常設しているの、にぎわいがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間領域に屋外休憩スペースを確保 ・ テイクアウト商品を自由に食べられる休憩スペース <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内休憩スペースがない ◆無料休憩スペースが不足している ・ バーゴラなどがあれば良い <ul style="list-style-type: none"> ◆大型バスなどのドライバーの休憩スペースを確保したい ・ 家族連れが多いため、休憩スペースを増やしたい
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所と観光案内所が近いため効果的な対応が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ◆スペースがない ・ スペースが狭い
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足りているトイレ ・ 自然光を取り入れ、明るく清潔なイメージは利用者の評判がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不足しているトイレ ・ トイレの位置がわかりづらい ・ 大型バスがくるとトイレが不足する ・ ベビーチェアの要望がある <ul style="list-style-type: none"> ◆鉄分の多い地下水は、便器に色が付着し、センサーなども壊す ・ 異物（ペットの糞・オムツなど）を流されると浄化槽ポンプが詰まる
物販	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域初のパン屋が好評である 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフォメーションと物販が一体化しており利用客が行き来できて良い <ul style="list-style-type: none"> ◆スペースが狭い <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に商店がなくなったため、購買施設の要望がある
直売所		<ul style="list-style-type: none"> ・ 直売所が分棟になっているため不便である ◆狭い直売所 <ul style="list-style-type: none"> ◆風通しが悪い ・ 地方発送の梱包・保管スペースがない
バックヤード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増築時に運営者の意見を反映しているため、足りている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バックヤードがない ・ バックヤードが不足している ・ プレハブ倉庫を建て対応 ・ 冬期間、商品が凍結してしまうプレハブ倉庫 <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷蔵で保管できるスペースに限られるため、繁忙期に苦慮している ◆当初計画の冷蔵庫では不足したため、プレハブを建て設置した
事務室ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩スペースや更衣室は充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の休憩スペースがない ・ 事務処理をするスペースがない ◆職員休憩スペースがなかったため、パーティションで間仕切り対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 物販スペースを広げため事務室がなくなった ・ 休憩スペースと更衣室が同じため狭い
動線		<ul style="list-style-type: none"> ・ 産直施設の動線が悪い ・ 物販施設などで、従業員同士がすれ違ふことが困難である <ul style="list-style-type: none"> ◆従業員の動線が確保されていない ・ トイレなどの動線上に混雑する設備があると通行阻害になる可能性
冷暖房		<ul style="list-style-type: none"> ◆後付のため割きだしの冷房 ・ 事務室に冷房がないため暑い ・ 床暖房は燃料費がかかる <ul style="list-style-type: none"> ・ 暖房ボイラーが1つなので効率が悪く、コストが高い ・ 夏場は窓を開けて運営しているが、虫が入ってくる
照明		<ul style="list-style-type: none"> ・ 天井が高いため、照明が暗い ◆照明の照度計算が悪く、夜間、文字が見えない <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品棚がライティングされていない ・ 鳥獣保護区の関係であまり明るくできない
電気設備		<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気容量が不足している ・ 停電時、水・暖房など使用できない
ゴミ箱		<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ置き場がない <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者がその辺にゴミを置いていくため、ゴミ箱を後付
冬期管理（除雪、落雪等）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根からの落雪処理に苦慮 ・ 屋根からのつららに苦慮 <ul style="list-style-type: none"> ◆冬期の建物内の結露が酷い
防災施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ EV充電器の蓄電機能は、災害時に利用可能 ・ 災害時、受水槽内の水は利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネルにより、一時的な電源確保は可能 ・ コミュニティーFMを設置している
サイン		<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレのサインが大きすぎた ・ 外国人旅行者のため英語表記とした ◆サインがないため後付けした <ul style="list-style-type: none"> ・ デザイン重視でサインを小さくしたが、わかりづらかったため作り直した ・ 多すぎるサインは見栄えも悪くなるためバランスが難しい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暖炉 ・ 室内のキッズスペースは好評である ・ 近隣のデイサービスの利用が多い ・ 授乳室などがあり、子育て世代に配慮された設計 ◆防火水槽を設置しない施設規模であると維持管理費は安価である 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下水のため断水時も問題ない ・ 建物が長方形とシンプルな作りなため、レイアウトの変更が容易 ・ ドックランを後付けした（利用者の種目分けができ好評） ◆運営には無駄なものでも、災害時のゆとりとして確保すべきである <ul style="list-style-type: none"> ・ 電線・電柱の地中化 ・ 雪の影響で使用できない通路 ・ 会議室などはあるが利用頻度が低い ・ 認知不足もあり加工研究室が利用されていない ◆魅力のない展望台は利用者が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・ 授乳室の要望がある ・ 利用者が持ってくるトレーなどを置く場所がない ・ 補助事業の制約により設計の自由度が低い

◆：有識者からのヒアリング事項

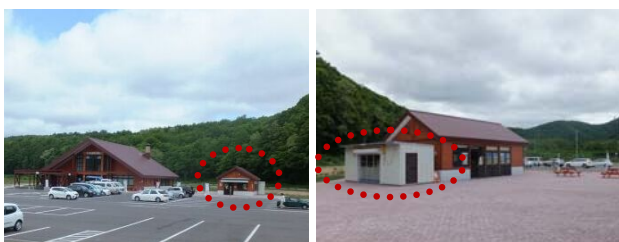


写真-7 左：直売所が分棟になっている(イメージ)
右：冬期間、商品が凍結してしまうプレハブ倉庫(イメージ)

・使いづらい円形施設の内部空間、など….

(3) 現地ヒアリング調査の考察

a) 要素と機能の関係の複雑性

現地のヒアリングからは、例えば、高い位置にある大きな窓やガラス面などは、施設や設備として良いと評価された一方で、管理面などで「熱効率の悪い吹き抜け(写真-6)」, 「大きな窓は明るい、直射日光により産直品などの商品の傷みが早い」, 「日中は明るい、日が落ちると暗い」, 「天窓は掃除に苦労する(写真-6)」など、立場や視点が変わるとマイナス面ととらえられ、多面的な評価をされた項目(要素)が複数あった。

b) 建物の内部計画と外部計画の整合

一方、改善したい項目として挙げられた「駐車場と園地が建物で分断されている」, 「園地が利用者にわかりづらく、利用されない」などの指摘は、現地調査からも容易に確認できた。例えば、写真-4の左側の写真のように、園地が施設の裏側に配置されている場合では、車両を駐車し「道の駅」に來訪した利用者の視線は、施設にさえぎられてしまうため、裏側の園地を認識しにくく(写真-4:左), さらに、施設内部からも容易に園地が見えなかったり、園地への出口がアクセスしづらい場合も多く(写真-5:左), 施設の裏に魅力的な園地を有している「道の駅」でも、結果として利用されていない事例が多かった(写真-4:右, 5:右)。

c) 管理・運営, 設備関係

他には「バックヤード」や「動線」に関するものが多く、中には「直売所が分棟になっているため不便である(写真-7)」, 「冬期間、商品が凍結してしまうプレハブ倉庫(写真-7)」などの事例も少なくなかった。また、防災面では、「停電になると水・暖房などが使えない」点が大きな課題と再確認された。

d) 柔軟性, 弾力性

他には「補助事業の制約により、設計の自由度が低くなってしまった」, 「後付けによる建物の雰囲気への悪影響」の声も多かった。

また「事務所と観光案内所が近いため効率的な対応が

可能」, 「直売所が分棟になっているため不便である」, 「使いづらい円形の内部」などについては、計画段階と運営段階における想定に差異があったため、運営後、不都合を感じ、改善したくなったものと考えられ、運営時の使い方を考慮した計画や設計が必要であることなどを改めて確認することができた。(著者らのこれまでの調査¹⁰⁾からも災害時にこの問題が発生していた。)

4. 「道の駅」へのアンケート調査

(1) アンケート調査

3章のヒアリング調査の結果で把握された、「道の駅」の施設や設備の良い点及び改善したい点について、その他の「道の駅」においても一般的に当てはまるものや適合するものを確認するため、「道の駅」を管理運営する各自自治体の担当者及び管理運営者に対して、ヒアリング調査結果に基づくアンケート調査を実施した。

a) アンケート内容

ヒアリング調査の調査内容、調査結果をベースに、回答しやすいよう『満足している』, 『改善したい』を5段階で評価してもらい、改善したい内容について自由記述して貰った(図-7)。

b) アンケート調査箇所

3(1)のヒアリング調査を実施していない北海道内の「道の駅」のうちの50駅に対して、平成28年1月～3月の間で、メールと電話によりアンケート調査を行った(表-4)。

(2) アンケート調査結果と考察

本報告では、主な概要のみ以下に述べる。

a) 満足度の低かった項目

アンケートの結果、直売所、休憩スペースやバックヤードに対する満足度が低かった。直売所やバックヤードは、近年の「道の駅」利用者の地場の品を求める高まりの影響。休憩スペースについては職員用の休憩スペースが、そもそも「設置されていない」などが原因と考えられる。

b) 改善の優先順位

なお、改善したい施設の優先順位は、トイレが最も高く、次いで、駐車場、休憩スペース(屋内)、物販、冷房、直売所、バックヤードの順になっていた。「道の駅」の制度が始まって20年以上が経過し、トイレなど使用している施設や設備が老朽化してきたことや、当初計画の想定を上回る利用者数及びニーズの多様化、元々「道の駅」ではない既存施設を活用して「道の駅」にしたことなどが理由として考えられる。

「道の駅」施設に関するアンケート調査

道の駅名 _____ (所属：自治体・道の駅) _____ 電話 _____ No.1

問1: 1～18の質問項目について、満足度(5段階)をマークしてください。「改善したい」理由があれば記載してください。
19～26の質問項目について、該当する回答にマークしてください。

番号	質問項目	回答欄	その他の質問
1	外観	5 4 3 2 1	改善したいですか? OK: 「スペースが足りない」で拡張したい
2	物販	5 4 3 2 1	改善したいですか?
3	直売所	5 4 3 2 1	改善したいですか?
4	休憩スペース(屋内)	5 4 3 2 1	改善したいですか?
5	休憩スペース(屋外)	5 4 3 2 1	改善したいですか?
6	情報提供	5 4 3 2 1	改善したいですか?
7	冷房	5 4 3 2 1	改善したいですか?
8	トイレ	5 4 3 2 1	改善したいですか?
9	バックヤード	5 4 3 2 1	改善したいですか?
10	職員休憩スペース	5 4 3 2 1	改善したいですか?
11	駐輪場	5 4 3 2 1	改善したいですか?
12	照明	5 4 3 2 1	改善したいですか?
13	電気容量(設備)	5 4 3 2 1	改善したいですか?
14	駐車場	5 4 3 2 1	改善したいですか?
15	自動販売機の設置箇所	5 4 3 2 1	改善したいですか?
16	ゴミ箱の設置箇所	5 4 3 2 1	改善したいですか?
17	出入口(施設)	5 4 3 2 1	改善したいですか?
19	冬期管理(結露、除雪、凍害等)	問題ない 困っている	解決済み/改善中/未着手/不明
20	園地	利用されている 利用されていない	改善したいですか?
21	イベントスペース(屋内・屋外)	有 無	
22	維持・管理の容易さ	しやすい しづらい	
23	防災施設	避難所として指定 指定されていない	
24	サイン類	当初から設置 後付け	
25	喫煙所	有 無	あり/設置中/どこにもありません

問2: 現在、困っている(改善したい)点があれば記載ください。(自由回答)

問3: 設計時に配慮して欲しかった施設・設備はありますか?(複数回答可)

問4: 改善できるなら、改善したい番号を最優先順位をつけて上位3つ記載してください。(複数回答可)
※改善に掛かる費用は考えずにお答えください。

図-7 アンケート調査シート

表-4 アンケート調査の概要

調査期間	調査箇所	アンケート調査内容
2016年1月～3月	北海道内の「道の駅」(50駅) 石狩・空知管内 12駅 上川管内 12駅 宗谷管内 3駅 十勝管内 14駅 胆振管内 9駅 ※協力機関 北海道開発局 北海道「道の駅」連絡会	・外観 ・物販 ・直売所 ・情報提供 ・冷房 ・トイレ ・バックヤード など “満足している”、 “改善したい”を 5段階評価

5. まとめ

現在、運営されている「道の駅」には、計画・設計時の配慮が足りず運営時に不具合が生じている「道の駅」が存在していることを確認した。一例ではあるが、施設内のレイアウトなどは、計画段階から、「道の駅」のコンセプトや、運営時における施設の使い方や、使われ方などを考慮しておかなければならないことである。

利用者にとっても、地域振興の面からも、より望まし

い「道の駅」となるには、現状の課題や近年の「道の駅」の多様化する機能や、ニーズの変化を考慮した、計画・設計が必要となるが、今回の調査から、少なくとも以下の必要性が確認された。

- ①柔軟性、弾力性を持たせた施設計画
- ②個々の施設のレイアウト、相互の配置
- ③個々の要素が機能に及ぼしうる影響の整理体系化
- ④施設や設備の多面的な評価と理解

今後、更なる調査、分析について取り組み、新設する「道の駅」の計画・設計のみならず、近年増加している改修や増築の際にも参考となる技術資料を取りまとめていきたい考えている。

6. 謝辞

最後に調査にご協力いただいた北海道内の「道の駅」関係者及び有識者、北海道地区「道の駅」連絡会事務局担当者、並びに北海道開発局職員の皆様に深く感謝申し上げます。

参考文献

- 1) 重点「道の駅」の選定について：国土交通省道路局HP, http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000472.html
- 2) 国土形成計画(全国計画)：国土交通省HP, http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudokeikaku_fr3_00_0003.html
- 3) 第4次社会資本整備重点計画：国土交通省HP, <http://www.mlit.go.jp/common/001104257.pdf>
- 4) 北海道総合開発計画：国土交通省北海道開発局HP, <http://www.hkd.mlit.go.jp/kanribu/keikaku/keikaku-suishin.html>
- 5) 独立行政法人国際協力機構HP, <http://www.jica.go.jp/press/archives/jbic/autocontents/japanese/news/2004/000014/index.html>
- 6) 道の駅案内：国土交通省HP, <http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html>
- 7) 「道の駅」による地方創生拠点の形成：国土交通省道路局HP, http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000439.html
- 8) 「小さな拠点」づくりガイドブック：国土交通省国土政策局, pp2, 2015.3
- 9) 多様な機能を持った「道の駅」の整備について：国土交通省HP, <http://www.mlit.go.jp/road/ir/kihon/23/5-2.pdf>
- 10) 高田尚人, 松田泰明, 吉田智：災害時における道路利用者の安全な避難などに貢献する「道の駅」の防災機能に関する考察, 第49回土木計画学研究発表会, 2014.6
- 11) 高田尚人, 松田泰明：道の駅の休憩機能の重要性と利用者評価, 寒地土木研究所月報第709号, pp38-43, 2012.6

(2016.7.29 受付)